

寺尾亨 とらぎ 國際法學者、法學博士。安政五年十一月二十九日筑前國
生れ、大正十四年九月十五自殺（一八六一—一九二五）。號其園、北洋居士。
明治十七年司法省法學校卒。在學中ボアソナードの師事として刑法を専
攻し、二十四年歐洲留學中國際法の專攻した。二十七年帝國大學法科大
學教授となり、二十九年外務省參事官を兼任。また國際法學會創設の
盡力。對ロシア強硬論七博士の一人。大正二年東邦政策の攻究を目的
として設立せられた東邦協會の幹事長となり、更に孫文等が推されて
政経學校校長として支那の有志を教育。一方同郷の岡七頭山清等と親
交、孫文、インド獨立運動の志士ラマ・ビハリ・ボース等を頭山等と
共に積極的に庇護した。天文學者寺尾壽は兄、俳筆東山千榮子は姪女
當り、數へ年十歳の折養女とした。

